

登録コード	ASD02500	開講年度	2026					
授業科目	生物共生科学特別演習					担当教員	山田 明義	
英文授業名	Advanced Seminar for Symbiotic Science					副担当	加藤 新平・齋藤 勝晴	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	1年次生
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ							
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					生物共生科学に関する英文を読解し、自身の研究活動との関係を理解できるようになる。		
授業の概要	受講する大学院生が生物共生科学に関連する資料をまとめてプレゼンテーションを行い、担当教員および受講する大学院生間で討論を行う。							
Contents:	The aim of this course is to provide students with specialized knowledge and the research and presentation skills required to produce Master thesis. Students will introduce some articles for English language journals concerned with the theme of their Master thesis. In certain instances, academic conference presentation will be an important part of this course.							
授業計画	第1回 ガイダンス：生物共生科学に関連する英文論文読解のための基礎知識解説 第2回 ジャーナルランキングとインパクトファクターについて 第3回 生物共生科学に関する論文データベース検索演習 第4回 生物共生科学に関する文献の選定 第5回 収集した文献情報の理解とまとめ 第6回 生物共生科学に関する学術論文輪講及び解説 第7回 課題英文論文の選定 第8回 植物（基礎）に関する英文論文を用いたプレゼンテーション演習及びグループ討論 第9回 植物（応用）に関する英文論文を用いたプレゼンテーション演習及びグループ討論 第10回 微生物（基礎）に関する英文論文を用いたプレゼンテーション演習及びグループ討論 第11回 微生物（応用）に関する英文論文を用いたプレゼンテーション演習及びグループ討論 第12回 環境（基礎）に関する英文論文を用いたプレゼンテーション演習及びグループ討論 第13回 環境（応用）に関する英文論文を用いたプレゼンテーション演習及びグループ討論 第14回 生物間相互作用（基礎）に関する英文論文を用いたプレゼンテーション演習及びグループ討論 第15回 生物間相互作用（応用）に関する英文論文を用いたプレゼンテーション演習及びグループ討論 第16回 まとめと総合討論							
成績評価の方法	プレゼンテーション（60点）と討論への参加状況・受講態度（40点）を総合的に評価する（100点満点）。							
成績評価の基準	60点以上を合格とする。 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 59以下							
事前事後学習の内容	講義に関連した学術論文を選定するので、それらに関するプレゼンテーションや討論ができるように事前に準備すること。							
履修上の注意	指導教員とよく相談のうえ履修してください。							
質問,相談への対応	授業時間内は口頭で及びそれ以外の時間はメール等で対応します。							
学生へのメッセージ	準備にかなりの時間を要するので計画的に進めてください。							
【教科書】	特になし							
【参考書】	適宜資料を配付する							